

令和4年 栃木市長 新年の抱負 (要旨)

○年頭のあいさつ

- ・ 昨年は、新型コロナウイルス感染症の深刻な感染拡大が影を落とした年であった。
- ・ 市民にはマスク着用や手洗いなど、基本的な感染防止対策に協力いただき、市内の新規感染者の減少につながっているものとする。
- ・ ワクチン接種も接種対象者の約87%が2回目の接種を終えた。
- ・ あらためて、市民の皆様のご協力に対し、心から感謝申し上げます。
- ・ 栃木駅前の観光交流館「蔵なび」嘉右衛門町伝建地区拠点施設「ガイダンスセンター」旧蔵の街美術館の蔵を利用した「蔵の街市民ギャラリー」が開館した。
- ・ 本市の魅力を発信する施設であり、さらなる魅力と賑わいの創出に向け、おもてなしの強化、交流人口の増加、市民芸術活動の推進を図っていく。

○新型コロナウイルス感染症対策について

- ・ 感染拡大防止と地域経済活動の活性化の両立に向け、適切な対策を講じていく。
- ・ 第6波の備えとして、基本的な感染防止対策への協力をお願いするとともに、県と協力して感染症対策の強化を図っていく。
- ・ 3回目のワクチン接種も、国の動向を踏まえながら円滑に実施していく。
- ・ 政府が示した接種間隔の前倒しについて、本市は、医療従事者、高齢者施設等の従事者、入所者は、接種間隔を6か月に前倒しする。
- ・ 65歳以上の一般の高齢者については、2月から接種間隔を7か月に前倒しする。
- ・ 接種券については昨年のような混乱を招かないよう、2回目接種完了日を基準に、接種可能な時期が近づいた方から順次、発送する。
- ・ 予約に必要な接種日程や会場等については、市ホームページ、新聞折込等にて、今月中旬にお知らせしていく。

【新型コロナウイルス感染症対策室 0282-21-2147】

【健康増進課 0282-25-3512】

○治水対策について

- ・ 被災箇所の復旧工事は順調に推移している。
- ・ 県においては、巴波川の地下トンネルや永野川の大規模改修など、抜本的な河川改修が進められている。
- ・ 市においては市民に見えるような形で、中小河川の改修や調節池の整備、田んぼダムの整備など、関係者の協力を得ながら取り組んでいく。

【道路河川整備課 治水対策室 0282-21-2785】

【農林整備課 0282-21-2387】

○産業の振興と雇用の創出について

- ・ 栃木インター西地区と平川地区の産業団地の早期完成に向け整備を進める。
- ・ 栃木インター西地区については、用地取得が進み、予定事業用地の約8割が確保できる見込み、本年から本格的な造成工事に着手する。
- ・ 平川地区については、用地の先行取得を進め、一部造成工事に着手する。

【産業基盤整備課 0282-21-2377】

【市街地整備課 0282-21-2775】

○栃木市フードバレー構想について

- ・本市は、豊かな農産物や豊富で良質な水に恵まれ、昔から多くの食品関連企業が立地している。
- ・栃木市は県内での農家戸数はトップクラス、近年では新たな食品関連企業の進出により、食料品関連製造品出荷額においては、県内2位。
- ・こうした歴史的な背景と強みを生かし、本格的に栃木市フードバレー構想を推し進めていく。

【商工振興課 0282-21-2371】

○栃木市立文学館、美術館の開館について

- ・市ゆかりの作家たちの作品等を展示するとともに、市の歴史に足跡を残した先人たちを紹介する文学館と美術館が開館する。
- ・文教都市といわれる本市の強みを活かすとともに、新たな文化の拠点・観光の拠点として活用していく。

【文化課 0282-25-5300】

○渡良瀬遊水地の魅力を活かす取り組みについて

- ・藤岡渡良瀬運動公園内に（仮称）渡良瀬サイクルパークを整備します。
- ・5月の大型連休に合わせてオープンする予定、遊水地とスポーツを通して交流人口の増加を図っていく。
- ・市民団体からの寄附等により、コウノトリ人工巣塔の設置を進めている。
- ・遊水地の保全とともに、これを活用した地域活性化を目指し、取り組んでいく。

【スポーツ連携室 0282-21-2591】

【渡良瀬遊水地課 0282-62-0919】

○その他

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックにおいて、車いすテニス競技女子ダブルスで本市出身の大谷桃子選手が銅メダルを獲得し、多くの方が勇気をもらった。
- ・本年10月のとちぎ国体・とちぎ大会では、ハンドボール、なぎなた、ボート、カヌーをはじめ、合わせて8つの競技が本市で実施される。
- ・選手の皆様が安心して競技に取り組めるよう、万全の準備を進める。
- ・11月には「とちぎ秋まつり」が予定され、皆様に安心して参加していただけるよう、感染防止策等万全の準備に努める。
- ・台風の被害から続くコロナ禍により長く困難な状況が続いている。
- ・市では、誰もが安心して暮らせるまちづくり、持続可能なまちづくりを目指して、しっかりと取り組んでいく。
- ・子どもから大人まですべての市民が、笑顔で夢や希望を語り、未来に向かって歩みを進めるために、精一杯努力をしていく。

【国体推進課 0282-21-2022】

【観光振興課 0282-21-2374】